

### 国登録有形文化財(建造物)

## 『池田家住宅主屋』

所在地：横川町中ノ



池田家住宅主屋は、明治末に建てられたと伝えられている木造2階建の建物です。明治34年竣工の大隅横川駅舎前を北に延びる街道に東面して店舗兼住宅と石倉が並んで建てられています。入母屋造2階建で、1階は梁間桁行とも6・5間で、2階は梁間3間、桁行4・5間の規模です。1階の街路に面した部分は、開放的な引き違い窓で、かつて商店を営んでいたことが伺えます。2階は四方とも下見板張りで、街路に面した東面と北面に設けられた開口部は全て縦約2.5m幅0.9mの上げ下げ窓となっており、2階は八畳間と座敷の2間があります。天井が高く美しい欄間を備え、床の脇には天袋・地袋を伴った柵を持ち、全体として洗練された印象です。右隣には、国登録有形文化財の石倉が建っています。

### 国登録有形文化財(建造物)

## 『森山家住宅石倉』

所在地：横川町中ノ



森山家住宅石倉は、大正5年頃建てられた石倉です。床面積約153平方m、石壁の厚さ約35センチ、外壁の寸法は、梁間約8m、桁行約19・8mの規模で、軒高約4・5m、棟高6・7mとなっています。桁行方向の壁は隣地境界の石塀に連続し、全面道路まで伸びています。小屋組と内側の柱・梁・桁等は主に松材で、天井板を張らず屋根は板張りの上に平木を載せた瓦葺きです。倉庫南面に、高さ約230センチのアーチ型の出入口が2カ所あり、観音開きの鉄扉がついています。倉庫内西側約6・7m部分が厚板張りの中二階となっています。石倉は建築当時のまま現在も食料品倉庫として利用される一方、中二階には大正・昭和初期の森山家の古い家具や調度品が保管・展示されています。